



高校阿倍野新聞  
発行所 大阪市阿倍野区阪南町一丁目30番34号  
大阪府立阿倍野高校 新聞部  
編集責任者 石橋奈佳  
発行責任者 高萩治子

朝に道を聞けば  
夕に死すとも可なり

# 思い出胸に秘め

第三十六期生の皆さん、御卒業おめでとうございます。卒業にあたって先生方からメッセージをいただきました。

## 卒業生の諸君へ

校長 中西 昭次

第36期卒業生の諸君、卒業おめでとう。諸君が心身の健やかな魅力ある人間に成長するよう心から祈念する。最近読んだ本から一部を紹介してはなむけの言葉としたい。「有名なナポレオンがいったと伝えられているのに「ヤミ夜の灯りをめざして進むときのように進め」という人生の指針となる言葉がある。その灯りをめざして進んでみたら、途中に川がある。その川を越すために橋を探して歩くと、一時は灯りと逆の方向へ向って進まねばならないこともある。しかし橋を渡ればまた目標に向かって進めるので少しづつ目標の灯りに近づける。長い人生の間にはそのような回り道する時がある。なまじ最短距離を進もうとすると川に落ちる結果になってしまう。だからしっかりと目標を持ち続ける限り、たとへば迂回しようが失敗しようが気にすることはない。ヤミ夜の灯りと人生の希望のことなのである。」



御卒業おめでとうございませう。この三年間に随分成長(ただし身長ではありません)せんよ。した人も、まだまだ気がかりな人もあります。先ずはこの高校卒業という一つの節目を乗り越えられたことを心よりお喜び申し上げます。

一組担任 杉野 登喜子先生



あかつきの 琥珀ひかればしらすらと アンデルセンの日ははづかぬ 宮澤賢治ぶたはすずかぬ あつたかなベッドの中でものを考えるのはもうよしよしそのむかしデカルトは朝のベッドで思索したとのことですが、ぼくたちはデカルトではないのです。また山の彼方に何かを希求した詩人たちもいたわけですが、今日からのぼくたちは自分自身の気分をこそ越えて行くのです。もう朝です。晴光でも……もう朝です。晴光

二組担任 菊澤 友義先生

## 不断の勉強を

教頭 門田 弘

卒業おめでとう。いよいよ社会への旅立ちです。すぐに実社会に飛び込む人、上級の学校へ進む人、中には数年を待たずして家庭に入る人もあるでしょう。し

# 就職内定者

五十八年度の就職内定者の数が決定した。昨年の内定者の数は減っていた。今年度は、昨年に比べて就職希望者は少なかつたが、厳しい就職戦線の中勝ち残ることは容易ではなかつた。公務員の場合も、難しかったようだ。ひと足早く社会へ出て行かれる皆さん、色々思い迷うこともあるでしょうが、自分の力を信じて頑張ってください。

- 関西電力 石川 渉
- 中島 良二
- 森 正和
- 日本専売公社 平山 剛
- 東洋ステレンス 萩原 義雄
- 秋原 秀樹
- 三笠鉛筆 田中 学
- 近畿自動車販売サービス 小田上敦史
- 東 南吉
- 高井 茂雄
- 藤沢薬品 吉岡真由美

- 第一勧業銀行 長尾加代子
- アトラス計算センター 山田 克明
- 三和銀行 前田 恵子
- 小坪千賀子
- 山川 伸子
- 近畿日本鉄道 高野 洋子
- 電々公社 三井 学
- 大阪興銀 松山 礼子
- 住友銀行 和田 里子
- 大阪銀行 田中由香里
- Mシステム 川口絵理子
- 加納 裕子

- アサヒエアポート サービス 吉子
- 宋 智子
- ミノルタ 竜野 智子
- 藤本製菓株式会社 川上 智代
- イズミヤ 北橋 靖子
- 丸栄センター 林 浩二
- 大阪ガス 今井 由香
- 全国土木建築 国民保健組合 柴田 好絵
- 阪和興業 下村 恵
- サンガリア 福岡 奉代

- 公務員 (郵便局) 神谷 彰広
- 藤井 哲郎
- 山崎製作所 堀 弘和
- 福寿信用組合 向井香津子
- 松下電工株式会社 高木貴美子
- 山幸製作所 堀 弘和
- 国家公務員 (郵便局) 藤井 哲郎
- 山崎 佳秀
- 府警察官 猿渡 哲郎
- 堺市職員 寺西 義弘
- 堺市消防職員 西川 誠吾 (敬称略)



卒業おめでとう。入学に際し祝の言葉に「素晴らしい新しい人生の始まりは苦しいことばかりの連続だろう。そのつらさに耐え抜いた三年後の美しく輝いた君達を早く見たい。」と書いたことを記憶している。その時期が今ここに早々とやってきた。激動の中を強く生き抜いた者、わずかに三年間で大半が決つてしまつた。青年期における一分一秒の貴重さを今も自分も感じて居る。又新たに一人も激動の世に旅立つのであるが、一秒の重みを後世に生かす、陰陽ともに精一杯生き抜いた者こそ人生の青春を得ると信じている。

三組担任 樋川 利雄先生



卒業おめでとう。今、君達は母校を巣立つにあたり、クラブに情熱を傾けた者、もう少し勉強すればよかったと反省している者、さまざまの感慨に浸っていることだろう。ただ残念なことは、塾などに追いたてられ育つてきた者の多し。諸君は、主体性に欠け、他から言われたいとしない。あまり言われたいとしない。この悪循環の者が非常に多い。これから社会人の仲間入りをする者にとっては、主体性をもち、人生の目標を打ち立てて進まねばならない。同時に一年間の目標を立ててこの山を登ろう。青春とは山を登ることだ。一歩一歩より大きな山に向かつて邁進しよう。

四組担任 倉本 優先生



卒業おめでとう。今までは同じ軌道上を歩んできた君達だが、これからは大なる可能性を秘めた、でも行先不明の色々な路線へ枝分れしていく。君達一人一人がその路線の管理責任者となるわけだが、着実に路線を延ばし経常収支は黒字を重ねることが君達の義務であり責任である。ちょっとした事故や災難でガツガツしたり、気分が左右されたり、他人が何となくしてくる式の甘ちゃんじやどこのかの国の鉄道みたいになるだけだ。君達が有能な管理者、本当の意味での大人に成長する日を楽しみにしています。

五組担任 故山 昭次先生



卒業おめでとう。穏やかな入江から波高い外海に向かつて帆を上げる君達に一言。君達の未来は君達だけのものであり、君たちが自分の力で切り拓くほかない。決して自分を見失わず、自分をおとすこととなく、豊かな人間になつてほしい。ただそれだけ。ひたすら願ひ、祈っている。思いはあふれても言葉にならないことばかりだ。健康にはくれぐれも気をつけて、願わくばよき航海を。

六組担任 河原林育朗先生

フランスの作家ユーゴーの言葉に「人生は航海である。この世に生を受けたる瞬間に航海が始まる。船にはエンジンが付いていない。風だけで動く帆船である。風の良し悪しで船の行き着く先は決まるのだ。海は、いつも穏やかであるとは限らない。嵐がやってきて覆さされることもあるだろう。長い航海で船体が最期までそのままという保証もない。いつどのような事故に遭うかもしれない。帆が破れたり、マストが折れたり、船体に穴があくこともあり得る。暗礁に乗り上げることもあるだろう。これらのことは航海の中で何回も体験するのだと思う。しかし、ただ体験するだけでは、進歩と進めというのには進歩と進め越えて行かないければいけないのだ。かじの取り方など、その時の時の正しい対処が必要なのだ。▼体験したからといって、次の同じような場合に正しく対処できるといふことはない。予備知識・基礎知識が必要なのである。海は、船のために、計画性をもって風をやって来させて、余裕のある航海のために三年という歳月を与えてくれる。その三年間に二つの知識が満足でないと、転覆ということになってしまう。反対に満足である、スムーズな航海ができる。余裕のある航海ができる。長い航海から見ると、ほんの一部分にしか過ぎない三年で余裕がでるかどうかが決まる。▼転覆してから、勉強不足を後悔しても、後の祭りである。やれる時にやる、何にでも挑戦できる三年間は貴重なのである。



# 重き母校に乾杯

## 学校の歴史 (最終回)

昭和三十三年十一月、創立記念日を、十一月十一日に改定する。本校は、大正十一年四月に、大阪府立第十一高等女学校として創立。翌十二年十一月に、校舎が落成。このことから、十一月十一日としたのである。昭和三十三年四月、修学旅行で、七年ぶりに男女同

昭和三十三年十一月、創立記念日を、十一月十一日に改定する。本校は、大正十一年四月に、大阪府立第十一高等女学校として創立。翌十二年十一月に、校舎が落成。このことから、十一月十一日としたのである。昭和三十三年四月、修学旅行で、七年ぶりに男女同

昭和三十三年十一月、創立記念日を、十一月十一日に改定する。本校は、大正十一年四月に、大阪府立第十一高等女学校として創立。翌十二年十一月に、校舎が落成。このことから、十一月十一日としたのである。昭和三十三年四月、修学旅行で、七年ぶりに男女同

# 部説

今日三つためには、大学へいくことが必要だと思ふから、なそれぞれが挙げられる。これに對向かかっての事情で大学へ行けないか、早立って一人前になりた

今日三つためには、大学へいくことが必要だと思ふから、なそれぞれが挙げられる。これに對向かかっての事情で大学へ行けないか、早立って一人前になりた

今日三つためには、大学へいくことが必要だと思ふから、なそれぞれが挙げられる。これに對向かかっての事情で大学へ行けないか、早立って一人前になりた

# 厳しく見つめよう 自分の「将来への道」

進学を希望する理由として「親や先生に勧められるから、進学する人より、もう少し学生という生活環境や自分の考え、自分で社会を見ていか方、進路の決め方も慎重に、自分の目標に到達しようだ。進学する人も、当然、就職への競争率は厳

進学を希望する理由として「親や先生に勧められるから、進学する人より、もう少し学生という生活環境や自分の考え、自分で社会を見ていか方、進路の決め方も慎重に、自分の目標に到達しようだ。進学する人も、当然、就職への競争率は厳

進学を希望する理由として「親や先生に勧められるから、進学する人より、もう少し学生という生活環境や自分の考え、自分で社会を見ていか方、進路の決め方も慎重に、自分の目標に到達しようだ。進学する人も、当然、就職への競争率は厳

今日三つためには、大学へいくことが必要だと思ふから、なそれぞれが挙げられる。これに對向かかっての事情で大学へ行けないか、早立って一人前になりた

今日三つためには、大学へいくことが必要だと思ふから、なそれぞれが挙げられる。これに對向かかっての事情で大学へ行けないか、早立って一人前になりた

今日三つためには、大学へいくことが必要だと思ふから、なそれぞれが挙げられる。これに對向かかっての事情で大学へ行けないか、早立って一人前になりた

# 今日巣立つ 夢と希望をのせて

春も日に日に近づいて来ていますね！  
この時期は、雰囲気的にゆとりができて、新たな希望や、夢を抱くものです。  
今日、この阿倍野を巣立って行かれる三年生の皆さんも、三年前は、何の縁があつてか、共にこの学校に入學し、共に目標に向か

春も日に日に近づいて来ていますね！  
この時期は、雰囲気的にゆとりができて、新たな希望や、夢を抱くものです。  
今日、この阿倍野を巣立って行かれる三年生の皆さんも、三年前は、何の縁があつてか、共にこの学校に入學し、共に目標に向か

春も日に日に近づいて来ていますね！  
この時期は、雰囲気的にゆとりができて、新たな希望や、夢を抱くものです。  
今日、この阿倍野を巣立って行かれる三年生の皆さんも、三年前は、何の縁があつてか、共にこの学校に入學し、共に目標に向か

## 通信 APC

冬春季 クラスマッチ  
例の冬季から十日までの間に渡って、放課後に行われた。  
一年男子はバスケットボールで、二年男子はラグビー、一年、二年とも女子はバスケットボールで、卒業式が挙行される。  
（おわり）

## 通信 APC

冬春季 クラスマッチ  
例の冬季から十日までの間に渡って、放課後に行われた。  
一年男子はバスケットボールで、二年男子はラグビー、一年、二年とも女子はバスケットボールで、卒業式が挙行される。  
（おわり）

旅行に出かけた。行き先は去年と同じ、蔵王へスキー初心者から経験者まで、二十五日から三日間の講習を受け、それぞれ成果をあげたようだ。  
去年は、修学旅行中、流感にかかった者がたいへん多かったが、今年はぐっと少なく、たいした事故もなく無事終了した。  
この蔵王でのスキー修学旅行は、今年で最後。来年度は、信州への修学旅行になるそうだ。  
☆丸谷先生に女の子誕生！  
国語科の丸谷一友先生に、一月二十三日、女の子が誕生した。名前「裕香」ちゃんと言われた。これで丸谷先生も、一児の父親となられたわけだが、感想を聞いてみると「とにかく無事に生まれてよかった」とおっしゃってくださった。また、教育方針は「とにかく素直に」ということだった。  
丸谷先生は取材の間「またか。」と言いつつ、笑って答えて下さった。  
☆高木先生結婚！  
社会科の高木三津子先生が、三月三日に、ご結婚されることになった。  
相手の方は、大西憲正さん。茨木高校の国語科の先生で、真宗のお坊さんだ。うだ。  
高木先生に今の気持ちを聞いてみると「忙しい一言。何も考える暇がない。」とおっしゃっていた。また、どんな家庭を築きたいかと

今日という日、時計でも十二時を打つとき最後の鐘をよく聞くと、とても、大きく打つ、今日のおわかれだね、今日がもう帰ってこないために今日が地球の上にもうなくなり、他無くなった日にまさかこんな日になつて行くから、

今日という日、時計でも十二時を打つとき最後の鐘をよく聞くと、とても、大きく打つ、今日のおわかれだね、今日がもう帰ってこないために今日が地球の上にもうなくなり、他無くなった日にまさかこんな日になつて行くから、

今日という日、時計でも十二時を打つとき最後の鐘をよく聞くと、とても、大きく打つ、今日のおわかれだね、今日がもう帰ってこないために今日が地球の上にもうなくなり、他無くなった日にまさかこんな日になつて行くから、

今日という日、時計でも十二時を打つとき最後の鐘をよく聞くと、とても、大きく打つ、今日のおわかれだね、今日がもう帰ってこないために今日が地球の上にもうなくなり、他無くなった日にまさかこんな日になつて行くから、

今日という日、時計でも十二時を打つとき最後の鐘をよく聞くと、とても、大きく打つ、今日のおわかれだね、今日がもう帰ってこないために今日が地球の上にもうなくなり、他無くなった日にまさかこんな日になつて行くから、

今日という日、時計でも十二時を打つとき最後の鐘をよく聞くと、とても、大きく打つ、今日のおわかれだね、今日がもう帰ってこないために今日が地球の上にもうなくなり、他無くなった日にまさかこんな日になつて行くから、

今日という日、時計でも十二時を打つとき最後の鐘をよく聞くと、とても、大きく打つ、今日のおわかれだね、今日がもう帰ってこないために今日が地球の上にもうなくなり、他無くなった日にまさかこんな日になつて行くから、

今日という日、時計でも十二時を打つとき最後の鐘をよく聞くと、とても、大きく打つ、今日のおわかれだね、今日がもう帰ってこないために今日が地球の上にもうなくなり、他無くなった日にまさかこんな日になつて行くから、

今日という日、時計でも十二時を打つとき最後の鐘をよく聞くと、とても、大きく打つ、今日のおわかれだね、今日がもう帰ってこないために今日が地球の上にもうなくなり、他無くなった日にまさかこんな日になつて行くから、

## アイロニ

新校舎ついに完成



アイロニ...  
ほほ...  
アイロニ...  
ほほ...  
アイロニ...  
ほほ...